

福知山線脱線事故

慰霊献花行動



祈りの杜

JR連合は、4月25日(火)福知山線脱線事故慰霊献花行動を行い、貨物鉄産労からは辻村書記長が献花を行いました。あらためて、事故により尊い命を失われた107名の御霊に、心よりご冥福をお祈りするとともに、お身体や心に大きな傷を負われ、今なお苦しんでおられる多くの皆様に一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

私たちは、一歩間違えばこのような大事故をお起こしかねない業務に日々ついています。JR貨物としても、あのような事故は決して起こさないと、安全への取り組みを強化していますが、残念ながら、速度超過や脱線事故等、一つ間違えば人命に関わる重大な事象が起きており、4月20日には、中斜里ORSIにおいて利用運送事業者の死亡労災が発生しました。

ダイヤ改正から1ヶ月以上が経過し、作業も慣れ、気候も穏やかになり気が緩む時期です。福知山線列車事故・石勝線列車火災事故・東海道線列車後退事故のような重大事故を二度と起こさないよう、職場における安全の確保が、鉄道全体の安全確立につながるとの認識に立ち、重大労災や大きな事象が、今なお起きている実態に危機感を持ち、日々の業務を行ってください。すべてのJR関係労働者の死傷事故・重大労災ゼロは最大の目標です。

当日は、大阪市内において、JR西労組主催「2023年事故を決して忘れず、安全を誓う集い」が開催され、JR西日本安全推進部林秀樹次長による基調講演「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027」を聞き、更なる安全性向上に取り組むことを誓い合いました。尚、「安全を誓う集い」の前に、JR連合安全対策会議を開催し、最近起きた事象や労災を取り上げ、今後の安全対策について話し合いを行いました。